

副 学 長

田 辺 正 英

◆ 研究概要

- 1) 人間における実存と安らぎの問題
- 2) 日本仏教における親鸞や蓮如の思想を通しての罪や悪と救済の問題
- 3) キリスト教における罪と救済の問題
- 4) 西田哲学や田辺哲学の絶対無の問題
- 5) 日本の哲学者と宗教について

◆ 原 著

- 1) 田辺正英：親鸞における懺悔（さんげ）と悲歎述懐（ひたんじゅっかい）
——田辺哲学に対比して——. 62(4)/279号：宗教研究（日本宗教学会編），257-259，1989.

◆ 学会報告

- 1) 田辺正英：三木清の宗教観について，日本宗教学会学術大会（第48回），1989，9，東京

副 学 長 ・ 病 院 長

佐々木 博

◆ 著 書

- 1) Inoue K., Aiba N., Nambu S. and Sasaki H. : Influence of ethanol on the hepatocarcinogenesis. Site specific demethylation of c-myc oncogene in hepatocellular carcinoma (HCC) of heavy drinkers, In Biomedical and Social Aspects of Alcohol and Alcoholism, by Kiriya K., Takada A., and Ishii A. (Ed.) 817-822, Excerpta Medica, Amsterdam, 1988. (1988年度追加)
- 2) 佐々木博：肝内浸潤リンパ球の電顕的研究。「消化器と免疫」No.22, 土屋雅春監修, 1-14, 日本医学館, 東京, 1989.
- 3) 佐々木博：胆汁うっ滞と原発性胆汁性肝硬変の病態生理。消化器病セミナー34「黄疸：病態生理の新しい視点」山本俊夫編, 129-141, へるす出版, 東京, 1989.
- 4) 佐々木博：原発性胆汁性肝硬変と原発性硬化性胆管炎。「消化器疾患最近の治療」岡博他編, 361-365, 南江堂, 東京, 1989.
- 5) 佐々木博：原発性胆汁性肝硬変への対応。「肝疾患治療ハンドブック」鈴木宏他編, 303-308, 南江堂, 東京, 1989.
- 6) 佐々木博：肝・胆・膵・腹腔の疾患—主要症候

と病態生理：黄疸，肝性昏睡，門脈圧亢進，腹水。「診療内科学」阿部裕他編, 69-76, 金原出版, 東京, 1989.

- 7) 佐々木博：劇症肝炎。「今日の治療指針, 1989年版」日野重明他監修, 379-380, 医学書院, 東京, 1989.
 - 8) 佐々木博, 井上恭一：腹腔鏡・肝生検。「臨床肝臓病学」岡博他編, 106-112, 朝倉書店, 東京, 1989.
 - 9) 佐々木博, 高原照美, 中山義秀, 宮林千春：肝コラーゲンの構成と局在。「肝の生化学」箱根シンポジウム3；肝の線維化・サイトカイン・ビタミン, 箱根シンポジウム記録刊行会編, 12-22, 中外医学社, 東京, 1989.
 - 10) 高原照美, 井上恭一, 佐々木博, 大島章：アルコール性肝疾患の肝線維化過程における血清マーカーと組織との対比—血清ラミニン, P-III-P値とラミニン, III型, IV型コラーゲンの免疫組織学的検討。「アルコール代謝と肝」Vol.8, アルコール代謝と肝研究会編, 211-218, 東洋書店, 東京, 1989.
 - 11) 松井俊二郎, 樋口清博, 青山圭一, 井上恭一, 佐々木博：自己免疫性肝炎の病態；免疫組織学の面より。「肝臓病を理解するための免疫学」伊藤憲一他編, 77-82, 日本医学館, 東京, 1989.
 - 12) 舟木淳, 樋口清博, 井田一夫, 島田一彦, 田中三千雄, 井上恭一, 佐々木博, 多葉田祥代, 増山淳子, 西野主真：潰瘍性大腸炎患者における末梢血リンパ球サブセットの検討。「消化器と免疫」No.22, 土屋雅春監修, 101-105, 日本医学館, 東京, 1989.
- ## ◆ 原 著
- 1) Inoue K., Konda T., Takashima K., Kuwahara Y., and Sasaki H. : Posttransfusion hepatitis type B; Long incubation period and poor prognosis in compromised hosts. Gastroenterol. Jpn. 24 : 198-204, 1989.
 - 2) Miyagiwa M., Ichida T., Tokiwa T., Sato J., and Sasaki H.: A new human cholangiocellular carcinoma cell line (HuCC-TI) producing carbohydrate antigen 19/9 in serum-free medium. In Vitro. 25:503-510, 1989.
 - 3) Aiba N., Nambu S., Inoue K., and Sasaki H.: Hypomethylation of the c-myc oncogene in liver cirrhosis and chronic hepatitis. Gastroenterol. Jpn. 24 : 270-276, 1989.
 - 4) Kubota Y., Funaki J., Tanaka M., and Sasaki H.: